

東和地域集落支援員紹介

①竹山統樹



木幡・太田の一部・針道の一部担当
獣害対策に取り組み、耕作放棄地の
解消を目指します。

②菅野栄和



木幡・太田の一部・針道の一部担当
集落活性化のためのアイデアを出
していきたい。

集落支援員だより 第1号

発行者 東和地域集落支援員

連絡先 66-2490

発行日 平成30年3月26日

目標 『住民が主役』であり、未来に希望をもって住み続けられる集落づくり

東和地域集落支援員募集中

集落支援員の仕事とは？



人口減少と少子高齢化が進むなか、最も身近な基盤である集落単位からこの現実・課題と向き合うことが求められています。集落支援員は、集落の現状確認とあるべき姿を見出すため、老若男女が集い話し合う場を応援します。

- 1 集落を巡回し目配りをする。
集落を巡回し、住民に声掛けをすることにより、不安感の解消を図る。
- 2 住民と共に集落の点検をする。
住民とのコミュニケーションを通して集落の実態や課題を把握する。
- 3 住民と住民との間での話し合いを促進する。
集落の現状、課題、あるべき姿等について話し合いができるよう『集落点検』の結果を活用しサポートする。



1 募集概要

人口減少と高齢化が進む地域で集落等のコミュニティの維持、活性化のため、地域住民の自発的な取り組みのサポート役となる集落支援員を募集します。

2 募集人員

東和地域（針道地区担当） 1名

※詳しい内容については二本松市ホームページまたは窓口まで



平成29年度集落支援員活動状況について

①竹山統樹集落支援員

今年度の当初は1人体制で始まり、東和管内65集落を巡回して集落の問題・課題等を探り出し、集落の活性化に向けた「元気な集落づくり」話し合いを推進してまいりました。しかし、集落ごとに温度差があり、思うような活動には至りませんでした。

世代交代と共に、生活扶助機能の低下、耕作放棄地の増加、交通手段の確保、獣害（イノシシ）等、課題は山積していると思います。集落内での相互扶助機能がより一層進むような活動の手助けをしていきたいと思っています。

②菅野栄和集落支援員

太田地区10集落、戸沢地区全域、10月からは針道地区も加わり活動を行いました。

始めに地域の皆さんに覚えてもらえるよう各地に足を運び、次に、集落の話し合いに参加して現在の集落の状況、今後の在り方など詳しく説明をしていく予定でしたが、それを希望する集落は極めて少ないものでした。

次年度には、多くの区長さんも交代する予定ですので、今後に向けて新たな気持ちで、自分も集落活動の一助となるよう努力して参ります。

集落づくり 事例紹介

平成29年度に補助金等を活用されて、集落づくりに取り組まれた集落を紹介します



木幡水舟区



○活動主体
木幡水舟区

○水舟集落の概要

二本松市木幡地区に属する人口96人、世帯数33世帯の小規模な集落で、福島市飯野町と隣接しています。また、集落の55歳以上人口比率が60%を超えた準限界集落でもあります。

○集落内での活動内容

新年会、初寅祭、総会、道づくり、草刈り、大神宮祭、毘沙門堂祭、中山間地域等直接支払事業等

○集落づくりのきっかけ

集落内の世帯及び人口減少（子供、若者がいない）、みんなが集まる機会がないなどの理由から、集落づくりがスタートする。

○活用した補助金

- ・平成25、26年度 福島県「大学生の力を活用した集落復興支援事業」
- ・「福島県地域創生総合支援事業」（グラウンドゴルフ大会、郷土料理、地域歴史文化等）
- ・二本松市「市民との協働による地域づくり支援事業」（公園化整備）

戸沢7区保全会



○活動主体
戸沢7区（高野幸三会長）

○目的
地域の資源を活用した地域間交流による地域創生を目的とする。

○活動内容
講演会の開催、座談会、地域資源講座、体験ツアー受入、先進地視察等

○活用した補助金
福島県「地域創生支援事業」



国士舘大学西谷学校



○活動主体
太田西谷区

○目的
学生と地域住民とが交流を図り西谷集落の活性化と集落維持を目的とし、双方の目的達成の為中身の濃い貴重な活動をしている。

○活動内容
中山間地の維持管理、神社仏閣の催事継承と保全、学生への農業体験

○活用した補助金
福島県「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

